

計算物理領域インフォーマルミーティング

日時；2026/03/25（水）12:30－13:25

場所：Zoom

議長：岡本祐幸（名大情セ：領域代表）

書記；永井哲郎（岡山大理：運営委員）

報告

(1) 試行期間 1 年目の、昨秋の物理学会年次大会（於：広島大学）における、新領域

「計算物理領域」を主領域とする講演（一般講演、シンポジウム講演、企画講演）

は、129 件だった。3 年間の試行中、毎回、100 件程度の講演が要求されているの

で、それはクリアーできた。なお、合同領域の分を含めた件数（若手奨励賞の算定

に使う数字）は更に大きな数になるが、4 月上旬頃までには公開される予定であ

る。

(2) IUPAP C20 Commission（計算物理）からの報告（常行氏）

i) 2026 IUPAP Early Career Scientist Prize in Computational Physics の募集

学位取得後 8 年まで。締切りは 5 / 1 0。詳しくは、

<https://iupap.org/who-we-are/internal-organization/commissions/c20-computational-physics/c20-news/>

ii) CCP2026 の開催告知

8/9-14 Sejong University, Convention Center, Seoul, Korea

Chair Suklyun Hong, Sejong University

2026/03/25 の時点でウェブサイトは未開設とのこと

(3)HPCI の動向（富岳 NEXT など）についての報告（常行氏）

以下に関する紹介や告知があった

- 次世代 HPC・AI 研究開発支援センター（HAIRDESC）
- HPCI 整備計画調査研究
- 次世代計算科学グランドリーチプログラム公募開始
- 「AI for Science に不可欠な計算資源の戦略的増強」公募開始
- 文科省の戦略目標にデジタル時空間拡張（JST）が加わった

（CREST やさきがけが公募される見込み）

議題 1：2026 年度運営委員の提案

4 月からの 2026 年度の役員は以下のとおりに承認された。

代表：青木保道（理研 R-CCS）

副代表：常行真司（東大理）

運営委員：

（高性能計算）

2026.4.1 – 2027.3.31: 伊東真吾（理研）

（計算アルゴリズム）

2025.4.1 – 2026.9.30: 大久保毅（東大理）

2026.4.1 – 2027.3.31: 森田悟史（慶大理工）

2026.10.1 – 2027.9.30: 大野浩史（筑波大）← 新規提案

（データ駆動科学）

2025.4.1 – 2026.9.30: 福島健二（東大理）

2026.10.1 – 2027.9.30: 木村真明（理研）← 新規提案

また、運営委員の分担は以下のように確認された：

プログラム編成連絡責任者：福島健二、木村真明

IT 関係管理者：森田悟史

物理学会のインフォーマルミーティング（IM）議事録記録者：伊東真吾

渉外：大久保毅、大野浩史

議題 2：計算物理領域運営内規の改訂

以下の提案が承認された。

1. 役員（領域代表、副代表、運営委員）とその任期

（2）個別担当

に以下を追加する。

(新)

(2.4) 渉外担当者

(他学会との連絡・連携、シンポジウム担当、後援申し込みへの対応など)

2. 役員（領域代表、副代表、運営委員）の選出方法

2行目：2年目以降は、

(旧)

旧役員とそのメンバーが推薦する若干名が審議し、秋の物理学会のIMで、次年度の次期副代表を推薦し、

(新)

秋の物理学会のIMで、原則として、現領域代表が次期副代表を推薦し、

最後の

(付則)

に以下を追加する。

3. 本内規は2026年4月1日から施行する。

なお、後援申し込みについて質問があり、計算物理春の学校に対する後援のような、領域として別の会議を後援する旨であることが返答された。また、春季大会についても、合同シンポジウム以外に、主導的なシンポジウムを提案すると良いという意見があった。

議題3：計算物理領域メーリングリストの新規作成について

計算物理領域のメーリングリストは、これまで、Google Group に基づく計算物理領域準備会のもの（compphys-jp）を利用してきたが、これには、計算物理に興味を

持つ人は誰でも入会できた。近いうちに、物理学会が提供してくれるサーバーに計算物理領域のメンバー用のメーリングリストを作成する予定である（運営委員の大久保毅氏が担当）。会員の移行をどうするか議論する。

議論の結果、移行することが承認された。また、現在の登録者全員を移行する方向で承認された。

移行する動機が確認され、現状では I T 担当に手間がかかる点が共有された。つまり、Google Group は登録の承認に手間がかかる、スパムではじかれると管理者が承認しないと投稿されない、などの技術的な点が指摘された。また、Google の無料サービスよりは学会のオフィシャルなサービスを利用する方がいいのではないか、との意見があった。

議題 4：今年の秋の物理学会におけるシンポジウムの提案

「機械学習と新規計算アルゴリズム」（案）（提案者：青木保道）

上記のシンポジウムを提案することが認められた。

議題 5：キーワードの検討

https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/jps_keyword/date2/keyword80j.html#kb

キーワードの選択回数について福嶋氏がメーリングリストで報告することが決まり、

プログラム編成しやすい粒度のキーワード作成について継続審議となった。

議題 6：その他

計算物理領域準備会のページの今後の取り扱いについて議論があった。アーカイブとして計算物理領域のページに移行することが決まった。

また、ホームページとメーリングリストの作成と初期の管理をしてくれた藤堂眞治氏の尽力がねぎらわれた。